

一般質問

3月定例会では15人の議員が一般質問を行いました。

- ・紙面の都合上、質問等の一部を掲載します。
- ・QRコードは各議員の録画映像へのリンクです。
- ・会議録は5月下旬にウェブサイトに掲載予定です。

※本稿は、質問者が作成しています。 ※本人の希望により、掲載しない場合もあります。

ID 1005109

3月4日(月)

- ・服部 修寛 議員 3P
- ・渡部 晃久 議員 3P
- ・中村 一仁 議員 4P
- ・長谷川八十 議員 4P
- ・井田 吉彦 議員 4P
- ・平松 邦江 議員 4P

3月6日(水)

- ・森 ひ と み 議員 5P
- ・柴田 雄二 議員 5P
- ・高橋 一 議員 5P
- ・佐藤 英俊 議員 5P
- ・竹山 聡 議員 6P

3月7日(木)

- ・彦坂 和子 議員 6P
- ・河村 弘保 議員 6P
- ・尾関 宗夫 議員 6P

服部
新緑風会
修寛
議員

市長選挙・愛知県知事選挙について

Q 県下最低の投票率を上げる為、期日前投票所の増設が必要と思うがいかがか。

A 期日前投票所は市内全体のバランスがとれた場所に増設すべきと考え、早期実現に向けて検討していきます。

障害者に対する施策について

Q 聴覚障害者団体主催の避難所体験会で、市が作成したコミュニケーションボードの使い勝手が悪かった。関係団体と十分に意見交換をして、当事者にとって使いやすいものにして欲しいがいかがか。

A 聴覚障害者団体関係者と意見交換を

行い、改善をしていきます。

Q 災害時の避難所運営全般において、ビブスは大変有用なので採用してはどうか。

A 防災訓練での着用等、紹介していきます。

Q Net119緊急通報システムの採用を検討して欲しいがいかがか。

A 2020年度の導入を予定しています。

重いランドセルの解消について

Q デジタル教科書導入にむけ、学校内ICT環境整備を進めて欲しいが。

A 順次ICT環境整備を進めていきたいと考えています。

渡部
新政会
晃久
議員

旧青年の家跡地の活用方針について

Q 平成28年度に解体された旧青年の家の跡地は都市公園として整備を行う旨、当時の説明会の時に聞いているが、その後木杭で囲まれたまま進展がないように見える。現在の状況と将来について確認したい。

A 平成29年10月に地元の意向を確認したところ、遊具やフェンスは設置せずオープンスペースの整備要望がありました。都市公園の整備には安全確保や管理区分の明確化のため、フェンス等の設置が必要であり、現状は都市公園としての整備が難しく、現在は総務部管財課で管理しています。

情報リテラシー教育について

Q SNS等への不適切動画の投稿は、リスクの理解が不十分なのが要因と思われる。ただ情報化社会の中で子どもたちを遠ざけることは適切ではなく、早い段階からリスクへの理解、使いこなす力をつけることが大切と感じるが、一宮市の対応はいかがか。

A 平成28年度から31年度まで、地方創生事業の情報モラル教育を進めています。また小学5年生へは、市独自に作成した情報モラルリーフレットを配付しています。さらに実施中のセルフディフェンス講座も、来年度から中学校では情報モラルに特化した内容に変更する予定としております。

新緑風会
中村 一仁 議員



未来の一宮市について

Q 先端科学技術を活用した社会であるソサエティ5.0実現に向けた動きとして、5Gを活用した遠隔型自動運転の実証実験が市内で行なわれた。今後も自動運転の実証実験を受け入れ、5G活用を進めていくべきと考えるが、市の考えをお尋ねする。

A 今後も、愛知県に協力する形で、自動運転の実証実験を積極的に受け入れていく予定です。AI他の技術が行政分野で活用できないか、5Gの活用等も含め協議します。



Q ソサエティ5.0の実現を進めるに当たり、市役所外部との連携の現状と今後の展望についてお尋ねする。

A 名古屋大学大学院と協働で、IoT・AI・オープンデータなどの活用について研究・検討を進めており、徐々に成果が出始めたところで、いくつかは、しばらくすれば公表できると考えています。

Q スーパーシティのエリア選定についての公募に立候補されてはいかがか。

A 情報収集を進めている段階です。スーパーシティに関する情報収集を進める中で、どのような取り組みが具体的にできるのか、調査・研究を進めます。

新政会
長谷川 八十 議員



一宮市自転車ネットワーク計画について

Q 一宮市の自転車利用の状況についてどうなのか。

A 自動車77.8%、自転車57.7%、徒歩41.6%から、自転車は市民の生活に根ざした交通手段であります。

Q 自転車の利用者は、歩行者扱いで歩道を走るものだと思っている方も多いと思うが、自転車は車輛であり車道走行が原則である。なぜこのような認識が広まったか。

A 昭和の時代に自動車が増え自転車事故が多発したので、自転車の歩道通行を可とする交通規制が導入され車輛という認識が希薄になったものです。

Q 自転車の事故を減らす、自転車走行スペースを設けるとは、どのようなことか。

A 平成28年の自転車利用環境創出ガイドラインに沿い「自転車道・自転車専用通行帯・車道混在」の3タイプを車道に設置します。

Q どのような場所から整備するか。

A 優先的エリアを設定し整備をします。

Q 自転車に関する施策やルールの周知、啓発活動のようなソフト面についてはどうか。

A SNS、大規模集客施設で関連イベント、小中学校のホームルームを利用し交通安全活動、各機会をとらえPRします。

新政会
井田 吉彦 議員



一宮市中期財政計画について

Q 内容はどのようなものか。

A 第7次一宮市総合計画と連携し、5年後の財政状況の目標設定と取り組みを示したものです。

Q 今後の見込みはどうなるのか。

A 市債残高の圧縮と財政調整基金の確保については、概ね計画に沿って推移している状況です。

一宮市の企業立地について

Q 新たに取組んだことは何か。

A 「一宮市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例」を施行し立地しやすい環境を整備しました。さらに、「一宮市工場立地法地域準則条例」を施行し、企業が設備投資をしやすい環境も整えました。

自動運転実証実験について

Q 5Gの特長はどのようなものか。

A 高速通信が可能です。今後は地域課題の解決に活用可能か協議していきます。

高齢者福祉について

Q 施設の今後の取り組みはどうか。

A 介護予防・地域交流スペースの成果検証の上、健康や認知症予防などのニーズに対応し利用者の増加を図っていきます。

公明党
平松 邦江 議員



寄り添う取り組みを

Q 大地震発生時の閉じ込め支援としてエレベーター内に防災椅子の配備を検討してはどうか。

A 市役所のエレベーターは、利用者が多く面積的に厳しいが検討したいと考えます。ツインアーチ138はすでに配備してあります。使用期限も確認しています。

Q 乳幼児用の液体ミルクの有効性が話題になっている。災害時の備蓄品に加えてはどうか。

A 賞味期間が短く高価なので推移を見守りたいと考えますが、災害協定の品目であれば提供を受ける事ができます。

Q 中学校で、男女の区別なく着用できる選択性の制服の導入を考えてはどうか。

A 現在は申し出があれば個別の対応をしています。時代に合わせた議論をしていくように働きかけます。

終活登録について

Q 高齢化が進み単身世帯も増加し、今後多死社会を迎える中、最期の迎え方や死後の心配についてアドバイスはあるか。

A 身寄りのない方からの相談があった時は、死後の事務委任契約を、ご家族の方がいらっしゃる場合はご家族とよく話し合い、書類として残す事を助言しています。

一志会
森 ひとみ 議員

138タワーパークの活用で活性化



Q ツインアーチ138の管理はどこが行っているか。

A 国が管理している国営公園内にありますが、一宮市が設置し管理している施設です。

Q 施設内の整備や修繕など迅速に行なえるように、施設管理を一宮市に一元化できないか。

A 施設管理の一元化は難しいですが、必要な施設の改善等、利用者からの声を聞き取り国に要望していきたいと思います。



Q 冬の花火ショーの協賛金を得るため、クラウドファンディングの手法を使う考えはあるか。

A 有効な資金調達手法と考え、支援金額、目標金額、インセンティブ内容等検討してまいります。

福祉避難所の指定

Q 特別支援学校を福祉避難所に指定する考えはあるか。

A 他市において指定している実例があるので、運営形態や運営方法など情報収集に努めたいと思います。

公明党
柴田 雄二 議員

2期目の中野市政と平成31年度市政運営について

Q 市長が選挙中に掲げた「みんなでつろう一宮の時代」の意味、イメージをお聞かせ願いたい。

A 国際的なビッグイベントが続き、リニアの開通によって、日本が大きく変わる節目を迎えています。こういった世の中の大きな変化の波に一宮市がうまく乗ることができれば、繊維産業で日本の高度経済成長をこの地域が引っ張ったように、再び日本・世界の中で、輝く街として注目を集めることができるのではないかと考えています。そのためには、一人でも多くの方に参



画していただきたい、関心を持っていただきたいという思いを込めました。

Q 2期目の中野市政のビジョンをお聞かせ願いたい。

A 第7次一宮市総合計画で示した「5つのプラン」と「2つのマネジメント」に沿って取り組んでまいります。市民や企業等の皆様にわかりやすく市役所が目指す方向性を理解していただくため、機会を捉えて、どんどん内外に発信して、しっかりと説明責任を果たしてまいります。

新緑風会
高橋 一 議員

ゴミ収集車等の爆発事故について

Q スプレー缶ばかりでなく、小型家電に使われているリチウムイオン電池が原因の発火が多くなっているが、安全対策は。

A 市民には適正な排出方法の周知を、作業員にはマニュアル等により安全な作業の徹底を図ってまいります。

部活とセカンドキャリアについて

Q 部活動の時間がどんどん削減されているが、学校体育としての部活動と社会体育としてのクラブチームとのバランスをどうとっていくか。

A 従来の学校単位での活動から一定規



模の地域単位での活動も視野に入れた体制の構築も必要と考えております。

18歳成人式について

Q 一宮市は18歳成人式を考えるか。

A 他都市の状況を見ながら、早い段階で方針を決めたいと考えております。

市民病院の方向性について

Q 早期退院を求められ市民は戸惑っている。急性期医療に特化している体制が、市民に浸透していないと思うが。

A 理解をいただき、不安の無い退院ができるよう支援に努めてまいります。

新政会
佐藤 英俊 議員

一宮市のプール事情について

Q 一宮市の施設には、公式記録を計ることができるプールがないが、老朽化して休場となっている尾西プールを室内50メートルプールにはいかがか。

A 尾西プールが立地している富田山公園の再整備の検討結果を見ながら、総合的に判断していきたいと考えています。また、県営施設や近隣自治体も含めた、より広域的な視点から検討していきたいと思います。

小・中学校の屋内運動場について

Q 今年度までに一宮市は小中学校の普通教室へのエアコンの設置を完了したが、



この先、小・中学校の屋内運動場にエアコンを設置する場合、屋内運動場が災害時の避難場所になっていることから、エアコンのエネルギーを復旧に強い分散型エネルギーのLPガスにすることが有効であると考えられるがいかがか。

A 市内の小・中学校では、理科室等の特別教室には、エアコンが未設置ですし、職員室、図書室、保健室、パソコン教室等のエアコンの多くが20年以上経過しており、機器を更新する時期が来ています。まずは、エアコンを設置する優先順位について、屋内運動場も含めて、検討していきたいと考えます。

新政会
竹山 聡 議員



各地域の出張所機能について

Q 今後の公共施設の在り方の議論の中には出張所も含まれるのか。

A 平成28年に一宮市公共施設等総合管理計画が策定されました。出張所については「建替え時に周辺施設への機能の移転、複合化などを検討し、より効率的な窓口業務や市民サービスの向上を図る」とされています。10の出張所の建替えが終了したので、出張所の在り方の議論はもう少し先になります。

Q 大和南部の方々から出張所・公民館に行くのは遠いという声を聞く。今後イーバスミニの充実などで地域の要望に応じて

いくということは考えられなくもないが、このまま出張所を存続させていくのであればどのように充実させていくのか。仮に出張所の部分をなくすというのであれば、地域の拠点としてどのように使っていくことができるか。

A ICT、AIなどの技術革新が進んでおり、市としては来庁しなくても個人の家で事務手続きが完了するという利便性を目指さなければなりません。そういった取り組みが進み、将来出張所がいらなくなるといったことになれば、出張所だった場所を公民館の一部として地域のために有効に使うことも考えられます。

日本共産党一宮市議団
彦坂 和子 議員



福祉タクシー料金助成の対象年齢の引き下げを

Q 福祉タクシー料金助成事業の内容は。

A 満90歳以上の高齢者等が、電車・バス等を利用することが困難なためタクシーを利用する場合、料金の一部を助成するもので、年度に30枚交付しています。

Q 江南市と岩倉市は85歳以上が対象で、江南市は年間48枚、岩倉市は年間24枚助成している。市で対象者の年齢引き下げは。

A 今後も高齢者人口が増加していくことを考え合わせると、事業費は増加するので、今の時点では現行のままと考えています。

今後の保育所等の乳幼児施設について

Q 一宮市保育所施設等総合管理計画(案)の内容は。

A 長期的な方向性として、市を12ブロックの地域に分け、教育保育のニーズに対応します。公立保育園は「ブロック支援園」とその他の園に分けます。「ブロック支援園」は、1ブロックに1～3園の公立認定こども園を配置し、その他の園は民間への移管も1つの選択肢として考えています。

Q 現在の保育施策を大転換するものとする。実施に向け説明会開催の考えは。

A 今後個別具体的な話があれば、改めて説明の機会もあると考えています。

公明党
河村 弘保 議員



消防団の強化と装備充実

Q 平成32年度までの3年間を対象とした「消防団設備整備費補助金」などを活用し、災害時に備えて、被災した現場で必要性の高まるチェーンソー、油圧ジャッキ、携帯用無線機などの装備充実を一層進めていくべきだと思うがいかがか。

A 携帯用無線機に関しては、県の補助制度を利用し、平成28年度に全分団へ配置完了しています。平成31年度につきましては、消防団車両の更新にあわせて、エンジンカッター、チェーンソー、油圧切断機と油圧ジャッキを兼ね備えた救助資機材を整備する予定です。

Q 災害時、消防自動車・救急車を含む緊急車両が建物の倒壊により被災する場合もある。市保有の緊急車両の修繕を優先する協定を結び、市民の皆さまに周知していくことは重要なことかと思うがいかがか。

A 消防自動車・救急車の軽微な修繕に関しては、消防署の整備工場にて対応可能ですが、緊急車両・災害救援車両の応急整備で支援協定を結んでいる自治体もあります。関係部署と調整し研究してまいります。

その他の質問項目

- ・家庭から出る排水について
- ・市内の中小企業への支援

日本共産党一宮市議団
尾関 宗夫 議員



高すぎる国民健康保険税の仕組みと誰もが払える保険制度の確立を

Q 国保税の負担は年々重くなっている。なぜそうなるのか。

A 国保の県単位化により、市は愛知県が決定した国保事業費納付金を県に納めなければなりません。慎重に検討を重ね、国保運営協議会に諮問し、答申を受けた上で税率の案を決定しました。

Q 国保税は協会けんぽの保険料と比べて高い。協会けんぽとの違いは何か。

A 国保税には所得割の他、加入人数に応じた均等割、世帯別平等割があります。協会けんぽには均等割も平等割もありませ

ん。国保は加入する人数が増えれば負担も多くなります。

Q 全国知事会は、国保財政への1兆円の公費負担増を政府に要望した。公費負担を1兆円増やせば、国保の均等割・平等割を廃止し、税額を協会けんぽ並みに引き下げることができると思うが、どうか。

A 国庫負担金割合の引き上げなどは、全国市長会を通じて国に要望しています。

Q 誰もが払える国保税にするため、市長はどのような考えを持っているのか。

A 国保は国や県の制度に左右されます。大事なのは市民の暮らしで、国や県に対し上げるべき声は上げていきたいと考えます。